

児童発達支援・放課後等デイサービスにおける 支援プログラム 公表

 Earth Kids



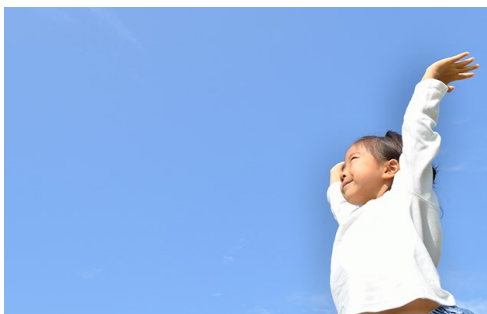
アース・キッズ株式会社 スタジオそら
更新:2026年5月1日

理念

子どもたちのために。以上。

支援方針

主役は子どもたち



スタジオそらは発達に障害があると言われる子どもたちばかりではなく、すべての子どもたちの健全な発達に向け、利用しやすい参加しやすい家庭や学校以外の第3の場、子どもたちが主役の安心と信頼の居場所です。

1対1を基本に、楽しく



一人ひとりの子どもの特性や課題を見つめ、発達支援療育士®が1対1を基本に、楽しく療育が受けられる環境を創造します。楽しい!だからもっとやりたい!課題にチャレンジすることを手助けしていきます。

子どもらしさを大切に



スタジオを訪れた子どもたちが、思いきり体を動かし、遊び、汗をかき、集中し、笑い、晴れ晴れとした空のような気持ちになって帰っていける、それが「スタジオそら」のコンセプトです。

提供方針

1. スタジオ療育

一人ひとりの課題に合わせ、オーダーメイドで粗大・微細運動、学習、SSTなどを組み合わせた支援を行います。

(個別・集団)



2. あおぞら療育

自然の中でのびのびと身体を動かしながら、グループでのコミュニケーションを学びます。

(集団)

3. イベント

季節や地域に合わせて、また、地域交流となるさまざまなイベントを行います。

(集団)

支援プロセス

初回

アセスメント

保護者から子どもの生活情報を収集したり、子どもの課題を領域ごとに分析、現状の把握の把握をします。
アセスメントは、誰が用いても同じような結果が得られることが重要です。そのため、スタジオそらが独自開発した「チャイルドラボアセスメント」を使用しています。



STEP
1

個別支援計画の作成

子どもと環境を考慮し、サービス提供の目標と計画をたてます。

チャイルドラボアセスメントから領域ごとに課題分析をし、個々の計画をたてます。「がんばればクリアできそう」な水準を見定めることがポイントです。

STEP
2

発達支援療育の提供

個別支援計画に基づき、発達支援療育士は子どもたちが楽しみながら課題に取り組める環境を作ります。

スタジオそらでは、子ども1人に療育士が1人つく個別療育を実施しており、手厚い支援を実現しています。

STEP
4

個別支援計画の見直し

モニタリングをもとにサービス提供の目標と計画を見直します。
スタジオそらでは領域に沿った豊富なプログラム開発を日々行っております。子どもたちが飽きずに、通い続ける工夫をし、ひとつでも多くの「できた！」を増やすことが重要です。

STEP
3

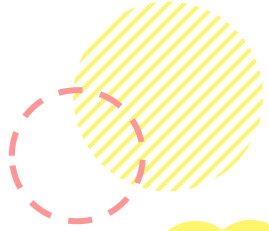
モニタリング

スタッフ間で療育の進捗を確認し、常に子どもの発達を把握します。

行動を基準に達成、継続、終了を判断します。どのような補助、どの程度の補助のできるかを分析するのも重要な視点です。

事業所情報

提供地域	事業所名	提供地域	事業所名
東京・世田谷区	スタジオそら北沢	東京・目黒区	スタジオそら祐天寺
東京・世田谷区	スタジオそら喜多見	東京・目黒区	スタジオそら都立大学
東京・世田谷区	スタジオそら用賀	東京・品川区	スタジオそら品川戸越
東京・世田谷区	スタジオそら上野毛	東京・中野区	スタジオそら東中野
東京・渋谷区	スタジオそら幡ヶ谷	東京・武蔵野市	スタジオそら武蔵野
東京・渋谷区	スタジオそら原宿	神奈川・横浜市	スタジオそら綱島
東京・大田区	スタジオそら大岡山	神奈川・横浜市	スタジオそら鶴見
東京・大田区	スタジオそら池上	神奈川・川崎市	スタジオそら鷺沼



営業日

月曜日から日曜日

休業日

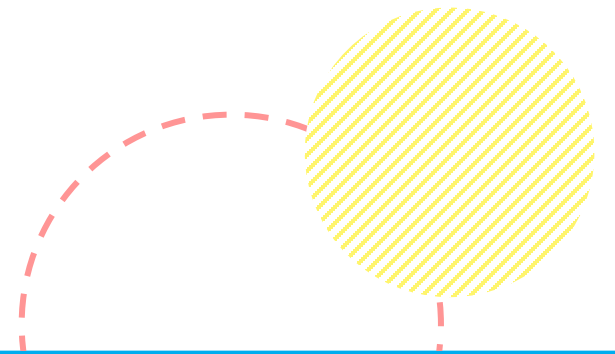
年末年始12月31日～1月3日

営業時間

月～金曜日(長期休暇含む)10:00～12:00／14:00～18:00
土～日曜日、祝日(長期休暇含む)9:30～12:30／14:00～17:30

送迎の有無

なし



支援内容

	5領域	支援内容	
本人支援	健康・生活	食事・整容・排泄・着脱・準備/片付けに関するプログラムを実施	
	運動・感覚	粗大運動	姿勢・移動・体づくり・ジャンプ・ボールに関するプログラムを実施
		微細運動	つかむ・ひっぱる・ひねる・つまむ・はめる・つまむ・とおす・はる・ぬる・はめる・はる・こする・描く・切るに関するプログラムを実施
		体育	体ほぐし運動・多様な動きを作る運動・マット・跳び箱・鉄棒・走の運動・跳の運動に関するプログラムを実施
	認知・行動	身体部位・色・比較・位置・分類・感情概念・時間概念・数・四則演算・図形に関するプログラムを実施	
	言語・コミュ ニケーション	就学前	非言語(身振り/指さし/サイン/ジェスチャー)・言語(2語文/3語文/名詞/動詞/形容詞/助詞など)・指示理解に関するプログラムを実施
		就学後	文字を読む・文字を書く・文章を表現する・事実の読み取り・行動のコントロール・感情のコントロールに関するプログラムを実施
人間関係・社会性	集団スキル・園生活・学校生活・地域生活・社会的スキルに関するプログラムを実施		
支援内容			
家族支援	①【見立て】児童の発達/特性に関する状況・成果/相談・助言等 ②【計画】目標設定に関する意図・相談・助言等 ③【手立て】プログラム内容・意図・成果/相談・助言等 ④【実行】補助・手法に関する相談・助言等 観察の機会提供や①から④などの個々の子どもに関する事項、支援内容と意図に関する説明/相談/助言などを実施		
	①児童の発達に関する相談・助言等 ②支援内容に関する相談・助言等 ③家庭生活に関する相談・助言等 ④集団生活に関する相談・助言等 ⑤きょうだい児に関する相談・助言等 ⑥制度に関する相談・助言等 家族のニーズに応じ、①から⑥などの相談援助を事業所での対面にて実施		
移行支援	インクルージョンに向けた取組の推進 ①事業所で支援し、習得した行動を園や学校、家庭などで同様の行動ができるように、般化を目指した支援を行う (1)練習した場面でないところでも適切な行動ができる(2)練習と違った指示でも適切な行動を引き出せる(3)強化子がなくても適切な行動をしつづけられる ②あおぞら療育では、インクルーシブの観点から地域社会の中で積極的に活動することを推進するため、地域の公園を活用し、集団活動を行う ③保育所や学校等への訪問や受け入れの際に行った会議等を通じて、児童の心身の状況や生活環境などの情報連携を実施		

	支援内容
職員の質の向上	<p>管理者・児童発達支援管理責任者向け研修・・・</p> <p>①リーダーの役割の確認 『チームを介して成果につなげる』⇒(人を早く育て、動かす・適切に判断し、成果を生む・効果的にコミュニケーションする)</p> <p>②【指示型】【コーチ型】【援助型】【委任型】の4つのリーダーシップ(SL理論)を使い分ける</p> <p>③モチベーションに応じて、コミュニケーションのアプローチを変える 【コーチング】【カウンセリング】の理解とロールプレイング</p> <p>④ディスカッション</p> <p>育成者向け研修・・・</p> <p>①育成者に期待されている役割(職務責任)を理解する ②コミュニケーションの基本について学ぶ</p> <p>③効果的なフィードバックについて学ぶ ④育成に関しての基本的な知識と実践を身に着ける</p> <p>⑤他者との交流。悩みや成功体験の共有</p> <p>新卒・中途入社研修・・・</p> <p>①ビジネスマナー・コミュニケーション研修 ②制度に関する研修 ③療育に関する研修</p> <p>全社員向け研修・・・</p> <p>①虐待防止(身体拘束)に関する研修 ②事故防止に関する研修 ③感染症に関する研修 ④防犯に関する研修 ⑤災害に関する研修</p> <p>職員の質の向上のための社内ツール</p> <p>①管理者・児童発達支援管理責任者の手引きを自社で作成</p> <p>②発達支援療育士の手引きを自社で作成</p> <p>③社内研修用専用サイトを自社で作成</p> <p>④社内自主学習用アプリを自社で作成</p>
主な行事	<p>①SSTに関するイベント(職業体験、オリエンテーリング、街探検など)</p> <p>②季節に関するイベント(初詣、色水遊び、ハロウィンパーティーなど)</p> <p>③学習に関するイベント(英語で遊ぼう、ダイラタンシー実験、就学ロールプレイなど)</p> <p>④工作に関するイベント(ブラッシュアート、プラネタリウム作り、スライム作りなど)</p> <p>⑤運動に関するイベント(運動会、マラソン大会、モルックなど)</p> <p>⑥音楽に関するイベント(リトミック、楽器づくり、コンサートなど)</p> <p>⑦遠足 など</p>